

授業科目	在宅保育					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	池田 佐輪子						
授業概要	地域型保育給付の一つとして居宅訪問型保育が位置づけられ、また、地域子ども・子育て支援事業の一環として一時預かり事業、延長保育事業、そして病児保育事業における訪問型保育事業が展開されている。さらに仕事・子育て両立支援事業が創設され、企業主導型ベビーシッター利用者支援事業等、北九州市においてはシン・子育てファミリー・サポート事業が立ち上げられて本学が場所の提供を行っている。このように多様な働き方改革の一環として我が国の保育サービスは多様化を見せ、今後の社会ニーズに対応できる柔軟なきめ細やかな機能を持つ保育が注目されている。そのなかにあって在宅保育の授業は、家庭訪問による保育に必要な知識および技術を修得することを目的として開講する。						
授業形態	対面授業			授業方法	<ul style="list-style-type: none"> 教員による講義を行う。 演習も含め、適宜グループワークやディスカッションを行う。 本学が提供している子育て支援の場所の環境について検討し、環境構成を考えてみる。 		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ol style="list-style-type: none">1. 居宅訪問型保育（在宅保育）とは何かを説明できる2. 居宅訪問型保育者に求められる基本姿勢と家庭訪問時的心構えについて説明できる3. 家庭訪問時に必要になる日常生活援助にはどのようなものがあり、どうすればいいか説明できる4. 居宅での保育におけるあそびの計画を立案し、実践につなげることができる
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none">1. 居宅訪問型保育（在宅保育）とは何かを説明できる2. 居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項が説明できる3. 居宅での日常生活援助の基本的な技術ができる4. 居宅での保育におけるあそびが展開できる

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	20%	
レポート	20%	最終レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	手作りおもちゃの発表
レポート外の提出物	20%	手作りおもちゃの課題
その他	20%	演習への取り組み度

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1 - DP2 - DP3 - DP4 - DP5 ○ ナンバリング CH21326J

學習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

(予習) シラバスで次回の内容を確認したうえで、必要な事前準備をする (復習) 各口で指示した内容を復習する	4
---	---

(予習) シラバスで次回の内容を確認したうえで、必要な事前準備をする

(復習) 各回で指示した内容を復習する

4

插畫計兩

第1回	テーマ：オリエンテーション、居宅訪問型保育の概要 本科目についてオリエンテーションをおこなった後、居宅訪問型保育（在宅保育）について社会的背景を始め、制度について学ぶ
第2回	テーマ：居宅訪問型保育の実際 実際の保育の様子のDVDを視聴し、集団保育との違い等の気づきを深めていく
第3回	テーマ：居宅訪問型保育の運営と倫理観 居宅訪問型保育の業務及び運営について知る。また家庭訪問時のマナーを説明し、倫理観について理解する
第4回	テーマ：居宅訪問型保育の専門性 保育の専門性と保育マインド、家庭支援及び虐待について理解する
第5回	テーマ：様々な家庭訪問保育（私的契約と公的契約の特色と配慮事項） 送迎・同行保育、学童の保育、海外の子どもの保育、訪問型病児保育について理解する
第6回	テーマ：居宅での保育におけるあそび 個別保育でのあそびの意義と具体的な内容を知り、次回以降の演習のガイダンスを受ける
第7回	テーマ：保育技術実践1【あそび】 居宅における個別保育の実践について学ぶ ①（解説）
第8回	テーマ：保育技術実践2【あそび】 居宅における個別保育の実践について学ぶ ②（制作）
第9回	テーマ：保育技術実践3【あそび】 居宅における個別保育の実践について学ぶ ③（発表）
第10回	テーマ：保育技術実践4【あそび】 わらべうた、子守歌、その他居宅訪問型保育の特色に沿ったあそびについて学ぶ
第11回	テーマ：保育技術実践5【環境作り】 利用者の居宅を訪問する際に留意すべき環境について理解し、保護者と協力しながら作る環境構成について考察する
第12回	テーマ：保育技術実践6【環境作り】 本学は、北九州市こども家庭局の”シン・子育てファミリー・サポート事業”に預かり場所として”かなめキッズひろば”を提供している。この場所が子どもが安心して過ごし、楽しんで遊べる環境となるために必要なものを検討する
第13回	テーマ：保育技術実践7【環境作り】 授業で検討した内容を受けて、”かなめキッズひろば”が子どもが安心して過ごし、楽しんで遊べる環境となるように、実際に室内や遊具などを構成する（制作①）
第14回	テーマ：保育技術実践8【環境作り】 授業で検討した内容を受けて、”かなめキッズひろば”が子どもが安心して過ごし、楽しんで遊べる環境となるように、実際に室内や遊具などを構成する（制作②）
第15回	テーマ：まとめ 本科目の学びを振り返り、集団保育と訪問型保育の在り方についてまとめ、小テストおよびレポートを作成する
テキスト	特に設定しません 必要なものは授業の中で資料として配布します

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	家庭訪問保育の理論と実際 第3版 公益社団法人 全国保育サービス協会・監修 中央法規 その他必要なものは講義の中で適宜紹介します
課題に対するフィードバックの方法	・提出された課題にはコメントを付けて返却します ・小テストと最終レポートは採点した後返却します
学生へのメッセージ・コメント	・本科目は、保育の既習科目が基となる応用的内容であるため、保育士資格取得にかかわるすべての科目を復習しておく必要があります ・居宅訪問型保育は、施設型集団保育とはまた違った魅力があります。ぜひ、多様な保育サービスについても興味関心を広げてください

